



The Service Club for the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：世界とともにワイズメン(Y's Men with the World) キム・サンチェ(韓国)
アジア太平洋地域会長主題：100年を越えて変革しよう 大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事主題：私たちは次の世代のために何ができるか？ 大久保知宏(宇都宮)
あずさ部長主題：道を拓く～愛と協力によって 長谷川あや子(東京八王子)
甲府クラブ会長主題：ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前進！ 石川 和弘

甲府ワイズメンズクラブ

2022年 1月 会報

●今月の強調目標

EF・JEF・week 4 you

■ ■ ■ 今月のことば ■ ■ ■

〈占星術の学者たちが訪れる〉 イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか、、、 新約聖書マタイによる福音書 2章1節～12節より 鈴木 健司 君 選

今月の例会案内(甲府21クラブとの合同例会)

日時：2022年1月11日(火) 18:30～
会場：岡島ローヤル会館
担当：甲府21クラブ
司会：小俣 寛 君(甲府21)

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

新春のごあいさつ

会長 石川 和弘



謹んで新春のお喜びを申し上げます。日頃よりワイズメンズ活動にご尽力いただき感謝申し上げます。

世界中がコロナウイルスにより、2年もの間、我慢を強いられ、我々日本人も当然影響を受けて参りましたが、幸いワクチン接種も進み、油断は出来ませんが、ある程度は落ち着いた状況で新しい年を迎えることができたのではないかと感じています。

この2年の間に、我が甲府クラブにも大変化があり、今後どのように活動していったらいいのか、クラブとしての議論が待たれるところです。もちろんワイズメンズクラブの使命はYMCAのサポートと次世代を担う青少年の健全育成に貢献することが第一であります。同時にワイズメンとして、各自が変転極まりない世界情勢に深い認識を持ち、社会に諸々貢献ができるよう頑張っていきましょう。70周年記念事業として進めてきました新クラブの設立も明るい兆しが見えてきたようです。

いずれに致しましても、健康なる身体が関わることですので、次々に発生する新型コロナウイルス等には充分お気をつけいただき、新しい年も元気にお過ごし下さい。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

プログラム

〈第1部 例会〉

- ・開会点鐘 米長 晴信 甲府21会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶 米長 晴信 甲府21会長
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・卓話 「ワイズメンとの協働」
日本YMCA同盟総主事 田口 努 様
- ・諸報告 両クラブ

----- 休憩・写真撮影 -----

〈第2部 懇親会〉

- ・食前の祈り 駒田 勝彦 君(甲府21)
- ・乾杯 次期東日本区理事・佐藤 重良 君(甲府21)
- ・会食(ワイズディナー)
- ・新入会員紹介、クラブPR 両クラブ
- ・太神楽 かがみもち 様
- ・ニコニコボックス
- ・YMCAの歌
- ・閉会にあたり、閉会点鐘 石川 和弘 会長

12月のデータ

会員数 30名(うち広義会員1名)
例会出席 メン:22名 メネット:3名(石原靖子・標恭子・中島雅子) ゲスト:4名(大木正人様・同夫人長坂百合子様・大澤祥子様・池上宗遠様)
メーキャップ:1名(丹後) 出席率:79%
国際協力募金:23,561円 ドライバーズファンド:5,500円

12月例会報告

2021年12月14日(火)18:30からホテル談露館において、クラブサービス委員会担当でおこなわれました。コロナウイルスの感染が下火になってきたとはいえ、まだまだ安心できる状況ではないので、談露館での感染予防を徹底したうえでのクリスマス礼拝、例会、祝会でした。

第一部礼拝は、田草川会員の司会で、日本基督教団南甲府教会・大木正人牧師に説教をお願いし、「ルカによる福音書2章1節～7節」の聖書からイエスの誕生のお話で、クリスマスにふさわしい説教をしていただきました。礼拝では、国際協力募金に献金をしてYMCAにお渡ししました。

二部の例会は丸茂会員の司会にかわり、石川会長の開会点鐘、挨拶では明治時代の甲府駅建設の話があり、石原祥平会員の祖父が大きな貢献をしてその碑が甲府駅にあると話されました。ぜひ見に行ってみたいと思いました。諸報告では新年甲府駅北口のよっちゃばれ広場で行われる「お正月を遊ぼ



★ ニコニコメッセージから ★

★石川会長より思いがけなく宗平祖父のことを伺い感激しました。また夫婦揃って誕生日プレゼントをいただきありがとうございました。(石原靖子)

★メリーXマス!コロナ禍でもクリスマス例会が保てて感謝です!(小倉恵一)

★今年も健康を与えられてクリスマス例会に出席できたことを感謝します。思わざること乾杯の発声を担当できてましてありがとうございました。皆様ご家族共に佳き新年を迎えられますよう祈ります。(鈴木健司)

う」の参加の呼びかけ、故石川博会員の遺稿集の出版の紹介、そして2月には池上宗遠さんの入会があるとの報告がありました。

第三部の祝会は杉田会員の司会で始まりました。大木牧師の食前の祈りのあと、ワイズディナーが始まる前に鈴木健司会員に元気に大きな声で乾杯をしていただきました。そして、アクリル板で個々に仕切られて人数を少なくした丸テーブルで美味しいコース料理をいただきました。例年、皆が持ち寄った品物をオークション形式で競る催しがありますが、今年はその代わりに渡辺会員が提案してくれた「モルック」というゲームをしました。このゲームはフィンランド発祥の投擲競技で、それに使用するピンなどの器具はすべて渡辺さんの手作りで、会場に持参してくれました。初めてするゲームですが、誰でも出来てみんなで一緒に楽しめるものでした。いつものクリスマス例会とは一味違った例会でしたが、いつの間にか全員が笑顔になって楽しんでいました。

出席者はメン22名、メネット3名、ゲスト4名で合計29名でした。(標 克明)

12月役員会報告

◎12月21日(火) 18:30～19:40 山梨YMCA

◎出席者:石川(和)・田中・渡辺・廣瀬・田草川・丹後・小倉・マウントフォード・標・仙洞田

【報告事項】

・本ブリテンに掲載事項は割愛します。(編集者)

▽11月27日・チャリティーラン(前月号に掲載)

▽12月11日(土)・松本クラブ第23回アジア賞:甲府クラブから例年通り「山梨YMCA賞」提供、露木総主事が出席、また例年通り「土佐文旦」購入の依頼あり、メールで周知する。

【協議事項】

▽新年例会について:担当・甲府21クラブ、1月11日(火)、岡島ローヤル会館・プログラムの連絡待ち

▽1月9日(日)「お正月を遊ぼう」について:実行委員会出席の渡辺さんから説明があった。9時集合

▽2月8日(火)TOF例会について:池上宗遠さんの入会式と山梨YMCA福田さんから国際協力事業についての卓話

▽3月8日(火)3月例会について:田中会員の「半導体事業の現在」についての卓話を予定

▽2月12日(土)第2回あずさ部評議会について:国立(くにたち)商協ビルとZoomのハイブリッドで開催、会場参加は、石川(和)、田中、渡辺、廣瀬の予定

【その他】

▽国際会長選挙について情報交換した。

(書記・廣瀬静男)

久し振りの忘年会

新型コロナウイルスの感染が山梨では下火になってきた事もあり、12月2日(木)、甲府市中央の治作鮎において、11月に開催された山梨YMCAバザーとチャリティーランへの慰労も兼ねて、石川会長の呼びかけで甲府クラブとしては久し振りの忘年会が開催されました。石川会長がバザーで購入した清酒「十四代」を持ち込み、ワイズ談義に花を咲かせました。参加者は石川・小倉・仙洞田・田中・廣瀬・渡辺の6名でした。



【治作鮎にて】

名称は「甲府やまなみワイズメンズクラブ」

—新クラブ設立準備会報告—

甲府クラブ創立70周年記念事業のひとつとして、また東日本区が推進する「Change!2022」に呼応するべく、2019年5月から「新クラブ設立準備会」を重ねて参りました。

新クラブの性格は、甲府駅北口地域への奉仕活動を中心とし、「Change!2022シンポジウム」で提案されたアクションプランに沿ったものとしています。新型コロナウイルスという思わぬ障害に幾度となく邪魔をされながらも、昨年12月10日に通算15回目の準備会を開催しました。

この経過の中で、クラブの名称を「甲府やまなみワイズメンズクラブ」とすることを決定しました。これは、甲府駅北口を東西に走るメイン道路が「やまなみ通り」という愛称であること、文字通り山々に囲まれた甲府盆地の中であって、新クラブの会員が“山脈”のように手をつないで活動すること、に由来しています。この他、会則、例会日、会費、一部の役員等を決め、2022年1月から仮例会形式で開催し、出来れば年度内の設立総会およびチャーターを目指したいと思っておりますが、コロナの状況次第でもあります。

現在の会員予定者は甲府JCのOB(40代)、北口まちづくり委員会の関係者など8名ですが、チャーターまでに数名の増員を目指しています。甲府クラブからは仙洞田が移籍します。(仙洞田安宏)

メンバーズニュース

▼ 北条さん、廃タイヤでXマスツリー

北条繁寿会員が経営するガソリンスタンドで、廃タイヤを利用した高さ約2.8メートル、最大直径約1.2メートルのクリスマスツリーを製作し、通行人の目を楽しませました。北条さんは「感染症の影響でクリスマスモードも盛り上がり欠けるが、少しでもほっこりしてもらいたい」と幸せな気持ちも“満タン”にしたいとのことでした。



(2021年12月16日・山梨日日新聞に掲載)

▼ 故・石川博さんの遺稿集出版



2020年1月に亡くなられた、石川博・元会員の遺稿集「石川博の仕事」が、ご遺族によって編纂され、このたび第1刷が発行されました。専門の近世文学や郷土史、各方面に寄稿したエッセイ、また故人と交わりのあった方々の追悼文などで構成されて

います。甲府クラブのブリテンで連載された「江戸時代人の見た富士」等の文章の他、仙洞田会員の追悼文も収められています。

(発行所・山梨日日新聞社、487ページ・定価・5800円)

▼ 渡辺さん、杉田さんしめ縄づくりの指導

12月27日(月)、渡辺徳之・杉田雄二両会員が、山梨YMCAのプライムタイム(学童保育)・キッズパラダイス(英語学童)などのプログラムの一環として行われたお正月飾りのしめ縄づくりを、約40人の子どもたちに指導奉仕をしました。





談話室

「不感」

宮本 秀憲

40歳になった頃、思い出した好きな言葉があります。「人は、生まれてから最初の十年は己のことだけ考えていればいい。次の十年は、家族のことを考える。二十歳になってからの十年は、生まれた国のことを考える。三十になったら日本のことを考え、そして四十になったら、世界のことを考える。」

どこかの本で読んで覚えていたのですが、江戸時代の朱子学者、佐久間象山の言葉と分かりました。

私達は誰もが生きる過程で、色々な人々のお世話になって、多くのものを頂いて今の自分があります。親、恩師、近所の大人、先輩、友人、上司など。私も経験しましたが、会社で先輩や上司が自分と関わる中で、この部下を成長させてやろうという気持ちをもって実際に行動して下さったことを後々知り、大変有り難い気持ちになったことを覚えています。多くの人達から様々なものを頂き今の自分があります。

私自身40歳になったとき、社会にお返ししなければならぬと以前より強く感じる事が多くなりました。但し、自分に力が無ければお返しはできません。力を蓄えるためには努力が必要です。

10代、20代はやはり力を貯めなければいけません。30代になると少し余裕が出てきます。以前母校の大学で講義をした時に学生達に伝えました。30代、40代になったら少しでも今まで頂いたものを社会に還元して行ってほしい。その繰り返しで社会は成り立っている、と。

私自身も、これまで様々な方々のお陰様の中で今日、この仕事をさせて頂いています。このお陰様を、頂いたものを、社会に、地域に、公にお返しをしていく。そんな心持ちで仕事をできればと思います。

これからの行事予定

- 1月 9日(日) お正月を遊ぼう(北口よっちゃばれ広場)
- 1月14日(金) 新クラブ仮例会
- 1月25日(火) クラブ役員会(山梨YMCA)
- 2月 8日(火) TOF例会(山梨YMCA)
池上宗遠さんの入会式
- 2月12日(土) あずさ部第2回評議会
(国立商協ビルとZoomのハイブリッド)



どんなことにも感謝して、
いつも喜んでいたい。

山梨YMCA 総主事 露木淳司

新年あけましておめでとうございます。

2021年も、無事一年を過ごすことができました。特にバザーとチャリティーランの2大イベントを、若干形を変えはしましたが、皆様のおかげで共に実現させることができました。

YMCAの事業活動としては、中央本館においては、南に隣接する空き家を借り受け、新たににじの家と称して、より多くの子どもたちを迎えられるようになりました。南西望みの家の近くでも中古家屋を借り受け、B館として中学生を受け入れられるようになりました。また、野の花保育園に0,1,2才児が入園するようになり、ようやく保育園らしい日常が営まれるようになっていきます。英語で生活する学童保育「キッズパラダイス」には16名の児童が入会しました。デイサービス「オリーブの木」も徐々にではありますが利用者が増えています。

ウィズコロナではありますが、何とかやっていけるYMCAになってきました。この力をレジリエンスというそうです。早く終わらないかな、とか、元に戻らないかな、と気をもむより、今の姿をありのままに受け入れて、それなりの方策を講じて、笑顔で、当たり前のように日常を過ごす。マスクや消毒をしているおかげで、いつも冬になると流行るはずのインフルエンザにかかる人もあまり聞きません。どこへ行っても距離を置いて密にならないようにする習慣は、混雑が起きにくく、争い事も起きにくく、ゆったりとして過ごしやすい・・・など、みんなポジティブに受け止めれば、何も怖いものなどなくなると思いませんか。

聖書に「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」という有名な言葉があります。どんな逆境に置かれようと、ひたすら祈り、感謝する。すべての試練をポジティブに受け止める、ということでしょうか。

2022年も皆様と共に、明るく楽しく元気に過ごしたいと、心から願っております。

今年もどうぞよろしく申し上げます。

1月アニバーサリー

該当者なし

1月 ハッピーバースデー

- メン:中島 達人 (3日) 杉田 雄二 (5日)
田草川すみ江 (25日)
- メネット:石原 久美(基平) (18日)